

林地残材プロジェクト 実施者：室井 拓也

・実施者紹介

2022年7月より 地域おこし協力隊（林業振興）として矢板市へ移住、着任。
2022年9月から、木製食器や木製雑貨等を製造・販売する個人事業を開始した。
個人事業の屋号は「果樹woodcrafts」（カジュウッドクラフト）、略称は「果樹クラ」。
様々な樹種の木材から、食器・雑貨・ノベルティグッズを作っている小さな工房です。



・プロジェクト内容

林地残材とは、主に建築材として伐採⇒搬出⇒利用すると利益が出ないため、山に捨てられてしまう木材を指します。そのような木材を使用し、**建築材以外の用途に加工し新たな価値を生み出すプロジェクト**です。

間伐材の利用は盛んになってきておりますが、林地残材の活用は出来ていない状況です。

・プロジェクト目標

主に林地残材ヒノキから、木製食器（コップ、お椀、お皿、サラダボウル、スプーン等）木製雑貨（時計・カレンダー等）を製造します。**人々が生活の中に取り入れやすい物**を作ることによって、木材利用の促進、そして木の温もりがある生活の提供を目指します。

